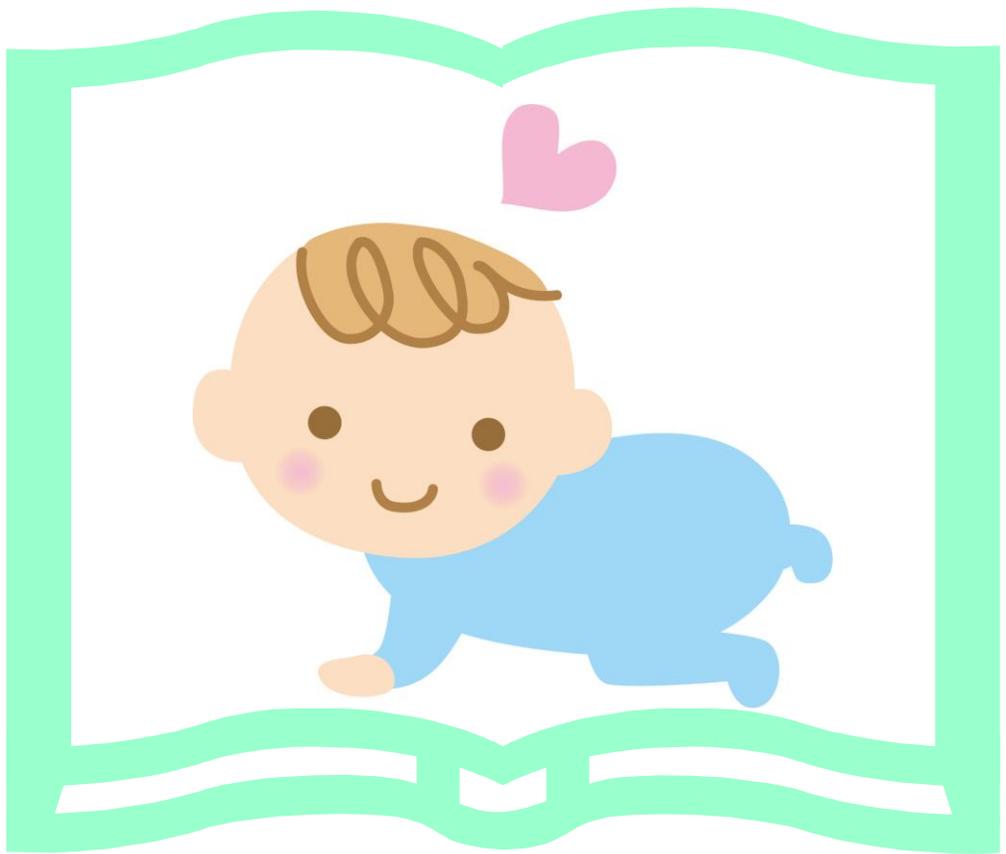


はじめてのえほん



猪名川町立図書館

あかちゃんといっしょにえほんを楽しんでみませんか？

意外に思われるかもしれませんが、言葉のわからないあかちゃんでもえほんの世界を楽しむことができるんです。

あかちゃんのごよびは大好きなお母さんやお父さんの声の響きを聞き、ページをめくるたびに変わっていく絵を見ることです。

この時期のえほんの読み聞かせは、むしろ「おもちゃ」に近いかもしれません。きっちり読もうと思わず気楽に、絵と言葉の響きをあかちゃんと一緒に楽しんでください。あかちゃんの表情にきっと嬉しい発見がありますよ

〈あかちゃんと絵本Q&A〉

あかちゃんに読んであげる絵本ってどんなものがいいかな？



うちの子絵本を読んでもあまり聞いてないみたいだけど・・・



0歳向きって書いてあるから選んだのにぜんぜん興味をしめさないわ。



選ぶポイントは3つ

- ①はっきりした色と絵のもの
- ②身近な素材をテーマにしたもの
- ③言葉の響きが楽しくリズムカルなもの

でも一番大切なのは読んであげる人が「楽しい！」「読んであげたい！」と思うものを選ぶことです。

ご心配なく！いろんなことに興味しんしんのあかちゃんがはじめからきちんと聞かなくてなかなかできることはありません。反応をしめたページの繰り返しでも OK です。「こうしなきゃいけない」というルールはありません。あかちゃんの機嫌のよいときに楽しみながら読んであげてくださいね。少しずつ絵本の世界に集中できるようになりますよ。

絵本の裏に書いてある「△歳向き」はあくまで目安。あかちゃんにも個性があります。興味があるものは人それぞれ…。言葉のリズムを楽しむあかちゃん、絵を見て楽しむあかちゃんなどさまざまです。あかちゃんが「にっこり」したものを読んであげてくださいね。



『いない いない ばあ』

松谷 みよ子 作

瀬川 康男 絵

童心社（21×19）

ページをめくるたびに
どうぶつたちが
「いない いない ばあ」
あかちゃんといっしょに
遊びながら楽しむことが
できます。



『じゃあじゃあ びりびり』

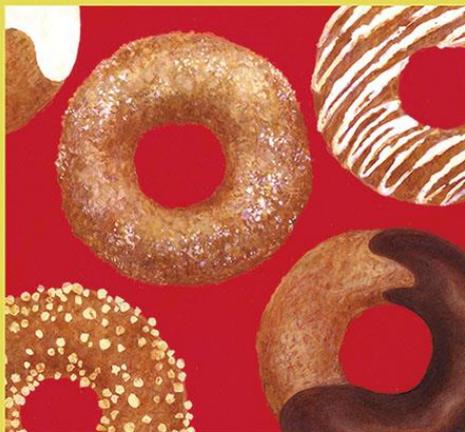
まつい のりこ 作

偕成社（14×14）

「みず じゃー じゃー じゃー」
あかちゃんの大好きな擬音語が
せいぞろい。
小さいサイズの厚紙絵本なので、
おでかけのお供にもぴったりです。

まるくておいしいよ

こにしえいこ
小西英子 さく



0.12.えほん

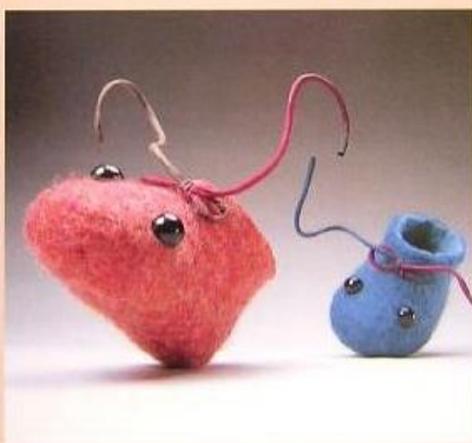
『まるくておいしいよ』

小西 英子 作

福音館書店 (20×20)

いろいろな色と大きさのまる。
これ、なあに？とめくってみるとケーキ、クッキー、オレンジ、のりまき、すいかなどまるい形の子どもたちの大好きなおいしいものがせいぞろい！

くっく くっく



著 長谷川 摂子 文 小川 忠博 写真 矢口 峰子 製靴

0.12.えほん

『くっく くっく』

長谷川 摂子 文

小川 忠博 写真

矢口 峰子 製靴

福音館書店 (20×20)

かわいいフェルトのくつのダイナミックな動きとことばのリズムが魅力の一冊です。かわいくつたちと一緒に、踊りだしたくなりますよ。

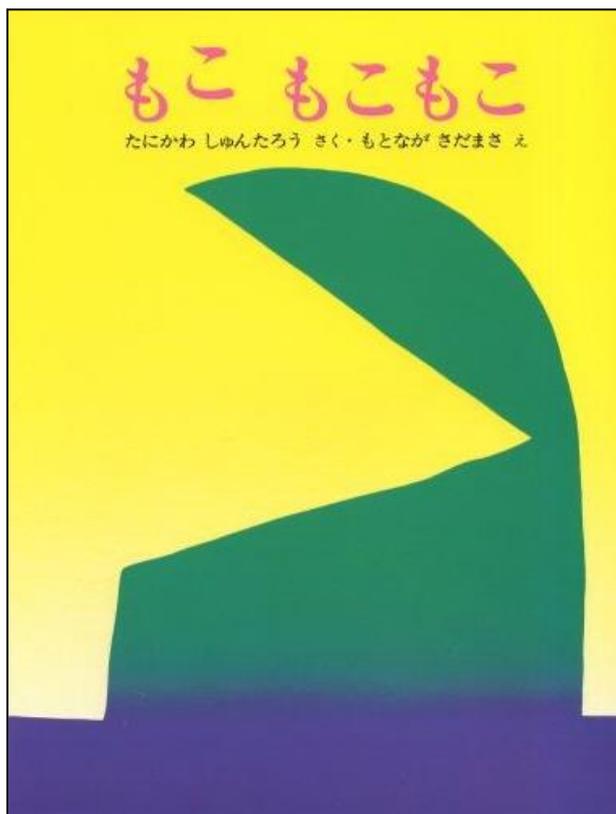


『がたんごとん がたんごとん』

安西 水丸 作

福音館書店（18×18）

「がたんごとん
がたんごとん
のせてくださーい」
ほ乳瓶、コップなど
あかちゃんにとって身近な道具が
つぎつぎと電車にのっていきます。



『もこ もこもこ』

たにかわ しゅんたろう 作

もとなが さだまさ 絵

文研出版（29×23）

「もこ」っと
水平線に突如あらわれる
不思議な物体。
動きのある音と絵が魅力の絵本です。
子どもの想像力をかきたてます。

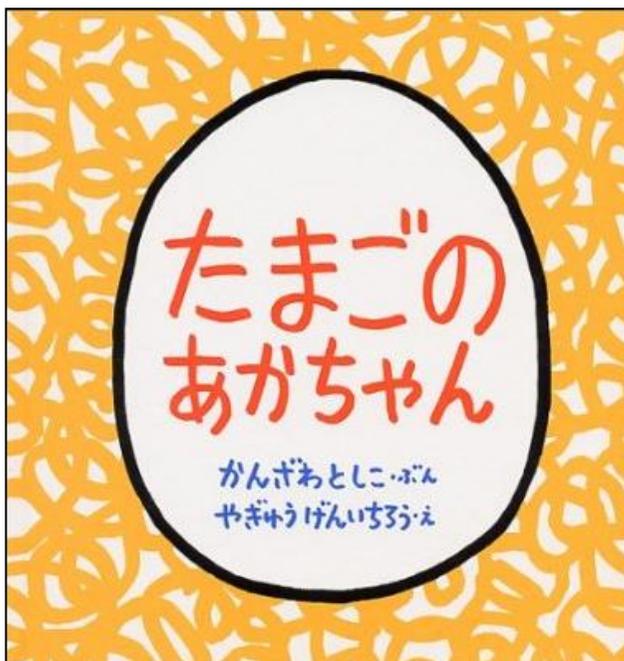


『くだもの』

平山 和子 作

福音館書店（22×21）

みずみずしいくだものが
ほんものそっくりに
描かれています。
おいしそうなくだものに
あかちゃんもくぎづけです。



『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ 文

やぎゆう げんいちろう 絵

福音館書店（22×21）

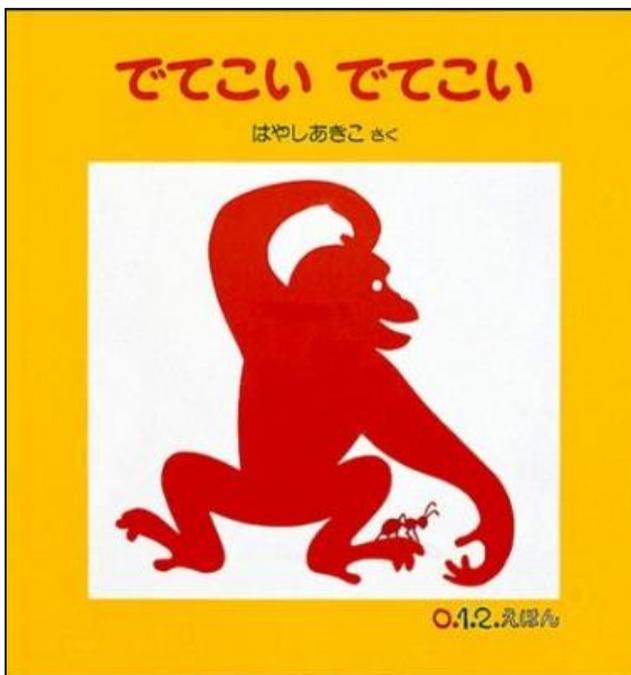
「たまごのなかで かくれんぼ
してる あかちゃんは だあれ？
でておいでよ」
よびかけるように読んであげて
ください



『ぴょーん』

まつおか たつひで 作
ポプラ社（16×16）

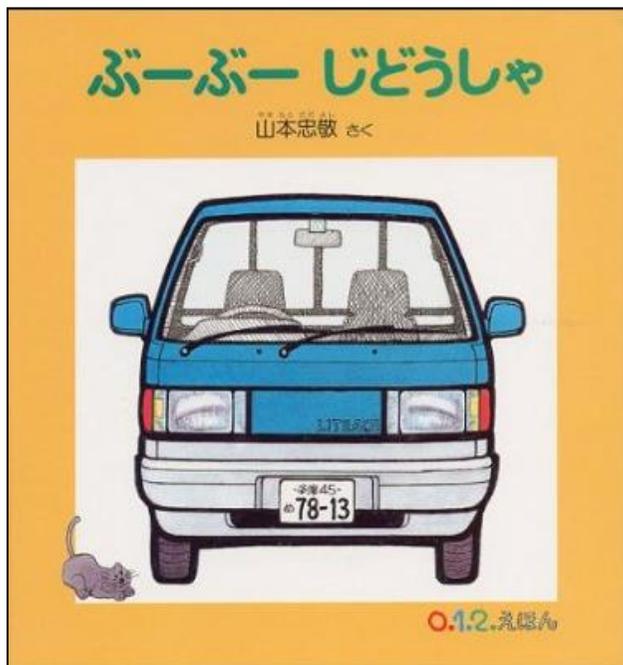
「かえるが ぴょーん」
「こねこが ぴょーん」
動きのある絵に思わず体が動きます。
「かたつむりが…だめか…」
などユーモラスな場面もあり
あかちゃんから幼稚園ぐらいまで
幅広い年齢で楽しむことができます。



『でてこい でてこい』

はやし あきこ 作
福音館書店（20×20）

あざやかな色彩とくっきりした形が
印象的な絵本。
次のページにいったい何があらわれ
るのか…。
ページをめくる楽しさを
味わってほしい一冊です。



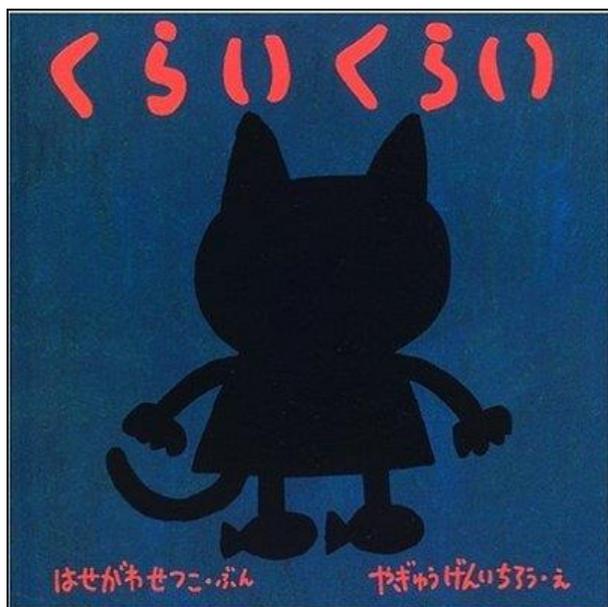
『ぶーぶー じどうしゃ』

山本 忠敬 作

福音館書店（20×20）

バス、消防車、救急車など
人気の自動車がしっかりと描かれています。

自動車大好きな
あかちゃんにどうぞ…



『くらい くらい』

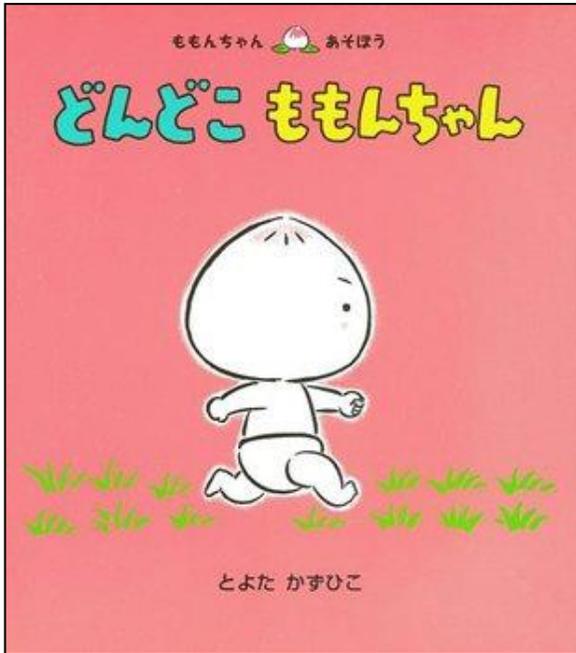
はせがわ せつこ 作

やぎゅう げんいちろう 絵

福音館書店（18×18）

「まっくら くら くら
くらーい くらい
でんきをつけて
ちょうだい…」

暗い部屋と明るい部屋の
コントラストが楽しい
絵本です。



『どんどこももんちゃん』

とよた かずひこ 作
こぐま社（21×19）

どんどこ どんどこ
どんどこ どんどこ

くまに道をふさがれたり、転んでしまったり…。でも、その先に待っているのは大好きなおかあさん！
シンプルな線で描かれた絵と繰り返しのリズムが大人気の「ももんちゃんシリーズ」の一作目です。



『おつきさまこんばんは』

林 明子 作
福音館書店（18×18）

屋根の上のにぼってくる明るいおつきさまが印象的な絵本。
絵本を読んだあと月夜と一緒に見上げてみるのも素敵ですね。
裏表紙の「あかんべー」をしておつきさまも忘れずに見せてあげてください。



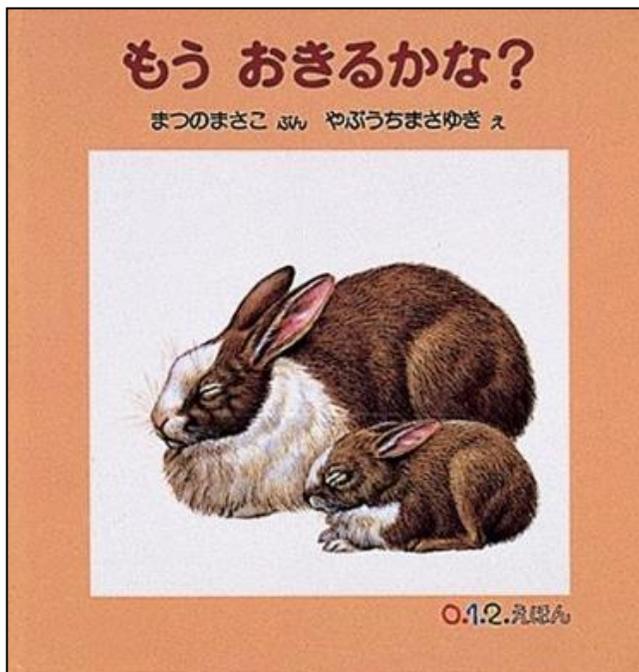
『どんどこどん』

わかやま しずこ 作

福音館書店（22×21）

にんじん、じゃがいも、だいこんなど、身近な野菜の土の中での姿が迫力いっぱい描かれています。

野菜の姿はもちろんのこと、リズムミカルな文章も魅力的な絵本です。



『もう おきるかな?』

まつの まさこ 作

やぶうち まさゆき 絵

福音館書店（20×20）

ねこ、いぬ、りす、くま、ぞう…。あかちゃんにも馴染みの深い動物たちが、毛並みの一本一本まで丁寧に描かれています。動物に興味を持ちはじめたらこの絵本をどうぞ。



『きんぎょがにげた』

五味 太郎 作

福音館書店（22×21）

「きんぎょが にげた
どこへ にげた」

いろいろなところへにげた
きんぎょを 親子で一緒に
さがして遊んでください。
見つける楽しさが味わえる
絵本です。



『デコボコえほんくねくね!』

クレール・ズケリ・ローマー 作

福音館書店（17×17）

さまざまな形の線や図形が溝に
なっているので視覚だけでな
く、デコボコとした触覚も楽し
むことができます。指で正確に
なぞることができるのは、少し
大きくなってからになります
が、丈夫な厚紙絵本なのでおも
ちゃ感覚でどうぞ。

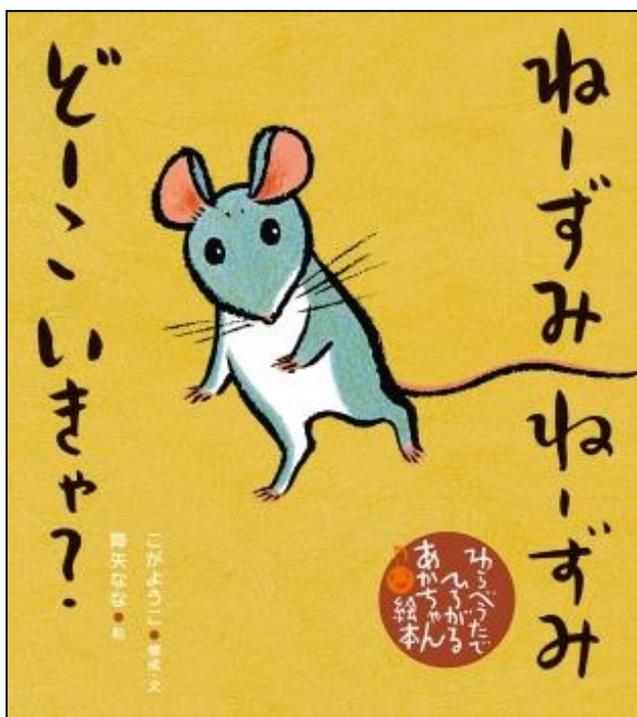


『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん 作

こぐま社（20×21）

こどもたちに大人気の
「こぐまちゃんシリーズ」の一冊。
はっきりした色と絵で
ホットケーキをつくる楽しさ、
たべる楽しさが伝わってきます。



『ねーずみ ねーずみ

どーこ いきゃ?』

こが ようこ 作

降矢 なな 絵

童心社（21×19）

ねーずみ ねーずみ どーこいきゃ?
わがすへ ちゅっちゅくちゅ

声に出して読むと、自然と心地よいわ
らべうたの世界にひたることができ
ます。巻末に簡単にできるふれあいあ
そびも掲載されていますので、
あかちゃんといっしょに気楽に楽し
んでくださいね。



『しろ、あか、きいろ』

ディック・ブルーナ 文・絵

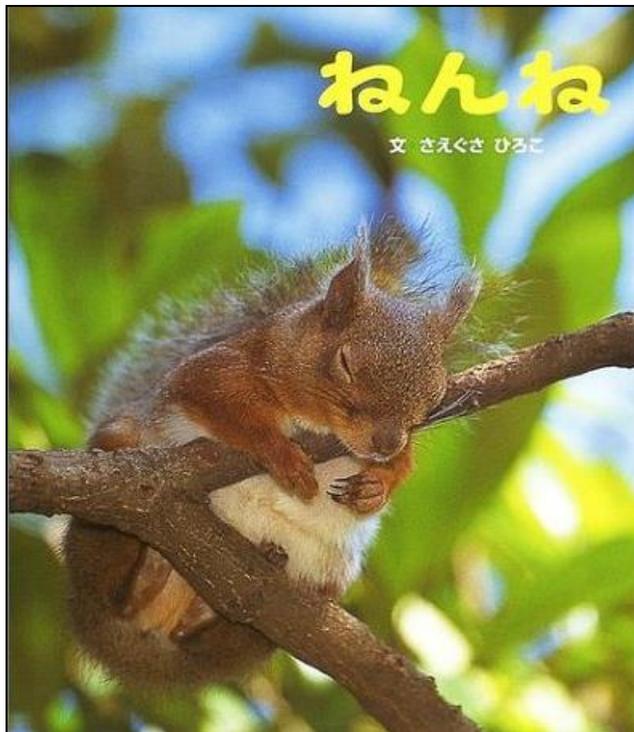
まつおか きょうこ 訳

福音館書店（17×17）

うさこちゃん（ミッフィーちゃん）シリーズで有名なディック・ブルーナの作品。

しろいシャツ、あかいくつした、きいろいブラウス。

1ページにつき1色を鮮やかな色で示しているの、色を覚えるのにもぴったりな絵本です。



『ねんね』

さえぐさ ひろこ 作

アリス館（23×20）

ねんね ねんね・・・

どうぶつたちのかわいい寝姿をあつめた写真絵本。

おやすみ前の読み聞かせにもぴったりです。

子育てって大変！気分転換におすすめの絵本



泣きやまない、なかなか言うことを聞いてくれない…。

子育ては思いどおりにいかないことの連続です。

お母さん、お父さんもちょっと疲れてしまうときがありますよね。

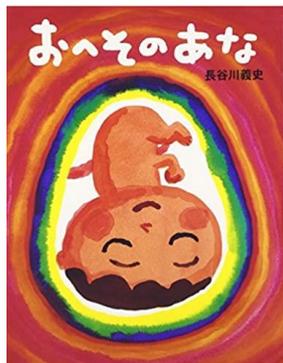
そんなとき自分のために絵本を読んでもみると、気持ちがほっこりしますよ。



『だいたいぶ だいたいぶ』

いとうひろし 作・絵（講談社）

いろんなことが不安な「ぼく」。友だちとの関わり方、さまざまな危険、いろいろなことに思い悩みますがおじいちゃんがひとつひとつ助けてくれます。手をにぎり「だいたいぶ だいたいぶ」と…。心が軽くなり優しい気持ちになる絵本です。



『おへそのあな』

長谷川 義史 作・絵（BL出版）

おかあさんのおなかの中のちいさなあかちゃん。おへそのあなから そっと外の世界をのぞいています。家族みんなの声を聴きながら…。
「おなかの中でこんなこと考えていたのかな？」あかちゃんが生まれてくる前の日々を、ちょっと懐かしく思い出すかもしれませんね。



『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井 良二 作・絵（偕成社）

「あさになったので まどをあけますよ」
さまざまな場所でくりひろげられる何気ない、でも美しい朝の1ページを描いた作品です。ちょっと疲れてしまったとき、眺めているだけで心にも明るい光が差し込むような絵本です。

『今日』（ニュージーランドの子育て支援施設に伝わる詩より）

今日、わたしはお皿を洗わなかった
ベッドはぐちゃぐちゃ
浸けといたおむつは
だんだんくさくなってきた
きのうこぼした食べかすが
床の上からわたしを見ている
窓ガラスはよごれすぎてアートみたい
雨が降るまでこのままだと思う



人に見られたら
なんていわれるか
ひどいねえとか、だらしなくてとか
今日一日、何をしていたの？とか

わたしは、この子が眠るまで、おっぱいをやっていた
わたしは、この子が泣きやむまで、ずっとだっこしていた
わたしは、この子とかくれんぼした
わたしは、この子のためにおもちゃを鳴らした、
それはきゅうっと鳴った
わたしは、ぶらんこをゆすり、歌をうたった
わたしは、この子に、していいこととわるいことを、教えた

ほんとにいったい一日何をしていたのかな
たいしたことはしなかったね、たぶん、それはほんと
でもこう考えれば、いいんじゃない？

今日一日、わたしは
澄んだ目をした、髪ふわふわな、この子のために
すごく大切なことをしていたんだって

そしてもし、そっちのほうじゃなくなら、
わたしはちゃんとしたわけだ

この詩はニュージーランドの子育て支援施設に伝わっていたよみ人知らずの詩です。それを詩人の伊藤比呂美さんが訳したところ子育て中のお母さんを励ます詩としてインターネットで話題になりたちまち広まってきました。

あかちゃんを抱えるお母さんの孤独感や焦燥感にそっと寄り添ってくれる素敵な詩です。思うことはみんないっしょ…ですね。



『今日』
伊藤 比呂美 訳
下田 昌克 画
(福音館書店)

猪名川町立図書館のご案内

★0歳のあかちゃんでもカードをつくることができます。

(保険証等、本人確認ができるものをおもちください。)

★あかちゃん向けの絵本もあります。親子で気軽にご利用ください。

★あかちゃんと一緒に参加できる、おはなし会
などの楽しい行事もあります。



開館時間 10:00～18:00

休館日 月曜日(祝日にあたるときは翌日)

第1木曜日(祝日にあたるときは他の日)

年末・年始

貸出期間 3週間 本・雑誌…あわせて10冊まで
紙芝居……6冊まで
CD・DVD…あわせて3点まで

} 借りられます

〒666-0257 猪名川町白金1-74-16

※総合公園内(イオンモール猪名川店向かい)

TEL 072-766-3238 <http://www5.town.inagawa.hyogo.jp/>

【猪名川町のおもな子育て関連施設】

猪名川町役場 猪名川町上野字北畑11-1 766-0001(代)

保健センター 猪名川町紫合字北裏763 766-1000

子育て支援センター 猪名川町柏梨田字イクシ124-1 766-7800